

川崎国際環境技術展2017

Kawasaki International Eco-Tech Fair 2017

川崎からはじまるグリーンイノベーション
一歩先へ、もっと先へ

環境分野における優れた技術やノウハウを川崎から国内外に広く情報発信し、出展者の市場開拓や販路拡大、新たな人脈形成に繋がる交流の場を提供する国際展示会「川崎国際環境技術展2017」を開催します。

今回より、「川崎からはじまるグリーンイノベーション 一歩先へ、もっと先へ」にコンセプトをリニューアルし、川崎発の環境イノベーションを強力に国内外に発信することで、出展者のビジネスマッチング機会の創出に繋げ、産業の活性化を図ってまいります。

1 日程 平成29年2月16日（木）・17日（金）両日とも10:00～17:00

2 会場 とどろきアリーナ（川崎市中原区等々力1-3）

3 入場料 無料

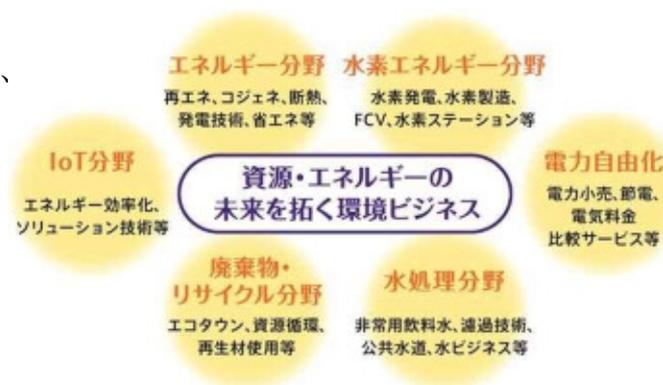
4 出展状況 133団体217ブースが出展（1月16日現在）

（うち、新規出展者40団体、47ブース）

5 開催の3つのポイント

（1）「資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス」をテーマとして開催！

- ・今回のテーマ「資源・エネルギー」に関連する出展企業・団体を水素エネルギー、IoT、廃棄物・リサイクル分野などの6つのカテゴリーに分類し、テーマ展示ゾーンに配置
- ・企業のオピニオンリーダー8名による環境ビジネスセミナーの開催



＜オピニオンリーダー8名による環境ビジネスセミナー＞

- | | | |
|---------|--------------|--------------------|
| [2月16日] | ・IoT | : 富士通株式会社 |
| | ・エネルギー/電力自由化 | : 東京電力ホールディングス株式会社 |
| | ・土壌汚染対策 | : 清水建設株式会社 |
| | ・水素エネルギー | : 三菱化工機株式会社 |
| [2月17日] | ・IoT/廃棄物 | : 一般社団法人資源循環ネットワーク |
| | ・エネルギー/電力自由化 | : 東京ガス株式会社 |
| | ・水処理 | : JFEエンジニアリング株式会社 |
| | ・水素エネルギー | : 株式会社東芝 |



(2) ビジスマッチングを加速させる企画を多数実施！

- ・ビジネス交流会（名刺交換会）の開催（2月16日）
- ・各種関係機関によるビジネス支援セミナー等の開催（2月16日・17日）

<連携する主な関係機関>

経済産業省関東経済産業局、国際連合工業開発機関（UNIDO）、
新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、国際協力機構（JICA）、
日本貿易振興機構（JETRO）、中小企業基盤整備機構 等

- ・会場入口付近に、出展者の情報発信ツールとして「かわさきエコビジネスボード」を設置

(3) 有識者や企業代表者によるビジネスに役立つステージプログラムを用意！

- ・グリーンイノベーションセミナー in かわさき（2月16日）
 - ① 東京都市大学 環境学部 特別教授、造園家 涌井 史郎氏
 - ② 東京大学 教養学部 客員准教授 松本 真由美氏
 - ③ 味の素株式会社 常務執行役員 アミノサイエンス事業本部副本部長
バイオ・ファイン研究所長 児島 宏之氏
- ・環境産業フォーラム（2月17日）
（一財）日本総合研究所 会長 寺島 実郎氏

<グリーンイノベーションセミナーin かわさき>



東京都市大学 環境学部
特別教授 涌井 史郎氏



東京大学 教養学部
客員准教授 松本 真由美氏



味の素株式会社 常務執行役員
アミノサイエンス事業本部副本部長
バイオ・ファイン研究所長
児島 宏之氏

<環境産業フォーラム>



（一財）日本総合研究所
会長 寺島 実郎氏

6 その他

- ・通訳体制の整備（英語・中国語・韓国語）
- ・プライバシーに配慮した商談スペースを配備
- ・燃料電池自動車等のエコカー試乗体験会の開催

問合せ先

川崎国際環境技術展実行委員会事務局 南 担当

（川崎市経済労働局国際経済推進室内）

電話044-200-3213

川崎国際環境技術展2017

Kawasaki International Eco-Tech Fair 2017

川崎からはじまるグリーンイノベーション
一歩先へ、もっと先へ

【関連事業の取組】

I 「低CO₂川崎ブランド'16」・「平成28年度川崎メカニズム認証制度」の認定・認証結果及び発表会の開催

低CO₂川崎ブランド：5件認定、大賞1件（宮松エスオーシー株式会社）

川崎メカニズム認証制度：2件認証

技術展では、低CO₂川崎ブランドに認定された製品・技術等について、表彰式を行います。

<低CO₂川崎ブランド認定結果発表会>

日時 平成29年2月16日（木） 14時10分～15時10分

場所 とどろきアリーナ センターステージ

- 内容**
- 1 表彰式（大賞表彰状・認定証等の授与）
 - 2 認定結果講評
 - 3 大賞受賞企業によるプレゼンテーション

資料Ⅰ 1～4ページ

II 「第13回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」の開催

国際連合環境計画 国際環境技術センター（UNEP IETC）との連携や国の研究機関等の協力を得ながら、本市の環境技術を海外に発信していくことを目的に、川崎国際環境技術展2017の開催に併せて、「第13回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」を開催します。

日時 平成29年2月16日（木） 11時00分～17時15分

場所 とどろきアリーナ サブアリーナ2階 研修室

テーマ 都市と産業の共生に向けて

～川崎発！脱炭素と資源循環に向けたアジア各都市との連携～

- 内容**
- ・主催者挨拶
 - ・基調講演
 - ・各種セッション

資料Ⅱ 5～7ページ

「低CO₂川崎ブランド'16」・「平成28年度川崎メカニズム認証制度」の 認定・認証結果及び発表会の開催について

本市では、グリーンイノベーションの推進に向け、優れた環境技術を活かす環境配慮の仕組みづくりの一環として、「低CO₂川崎ブランド」及び「川崎メカニズム認証制度」の認定・認証に取り組んでいます。

今年度から、市と産業支援団体等^(*)で構成される「低CO₂川崎ブランド等推進協議会」を発足のうえ、認定・認証、広報を連携し実施しており、認定・認証製品等のより一層の普及促進に向けた取組を推進しています。

*：川崎商工会議所、公益財団法人川崎市産業振興財団、NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター、川崎信用金庫

1 低CO₂川崎ブランド'16の認定結果について

(1) 低CO₂川崎ブランドの概要

低CO₂川崎ブランドは、原材料の調達から廃棄等までのライフサイクル全体でCO₂を削減できる市内企業の製品・技術等をブランドとして認定し、広く発信することで、製品・技術等の普及を促進して、地球温暖化対策を推進する川崎独自の取組です。

なお、本事業を開始した平成21年度から、昨年度までに7回認定を行っており、延べ65件の製品・技術等を認定しています。

(2) 「低CO₂川崎ブランド'16」の認定結果（詳細は別紙1参照）

【大賞】

部門	企業名	製品・技術等の名称
製品・技術	宮松エスオーシー株式会社	こんじゃりコン
【理由】 この製品は、余った生コンクリートを、独自技術により直接コンクリートの原料になる砂利などに再資源化し、新たに生コンクリートに再利用したもので、通常生コンクリートと比べ、約25%のCO ₂ 削減に貢献		

【大賞以外の認定一覧（五十音順）】

	部門	企業名	製品・技術等の名称
1	製品・技術	川崎バイオマス発電株式会社	CO ₂ フリー電気
2	製品・技術	JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（京浜地区）	新しい製鉄原料製造技術「Super-SINTER [®] OXY」
3	製品・技術	株式会社東芝 小向事業所	SSR装置「TW4477」
4	製品・技術	株式会社東芝 小向事業所	免許証印刷機「VL-L1390」

(3) 「低CO₂川崎ブランド認定結果発表会」の開催

今年度認定した製品・技術等については、次のとおり表彰式を行います。

ア 日時 平成 29 年 2 月 16 日 (木) 14 時 10 分～15 時 10 分

イ 場所 とどろきアリーナ (「川崎国際環境技術展」のセンターステージ)

ウ 内容 ① 低CO₂川崎ブランド'16 の表彰式 (大賞表彰状・認定証・楯の授与)

② 認定結果講評

③ 大賞受賞企業によるプレゼンテーション

エ 主催 低CO₂川崎ブランド等推進協議会

2 平成 28 年度川崎メカニズム認証制度の認証結果について

(1) 川崎メカニズム認証制度の概要

市内企業が研究・製造した環境技術・製品等が広く普及することにより、市内のみならず他都市でのCO₂削減に大きく貢献することになります。川崎メカニズム認証制度は、こうした市内企業が市域外で貢献しているCO₂削減量(域外貢献量)を認証し、市内企業の貢献を見える化するものです。

なお、本事業を開始した平成 25 年度から、昨年度までに 3 回認証を行っており、延べ 16 件の域外貢献量を認証しています。

(2) 「平成 28 年度川崎メカニズム認証制度」の認証結果 (詳細は別紙 2 参照)

	企業名	製品・技術等の名称	認証する数値
1	株式会社東芝 小向事業所	SSR 装置「TW4477」	【域外貢献量】 6. 3 × 10 ² トン (CO ₂ 換算) 【1 台あたりのCO ₂ 削減量】 2. 1 × 10 ² トン (CO ₂ 換算)
2	株式会社東芝 小向事業所	免許証印刷機「VL-L1390」	【域外貢献量】 8. 66 × 10 ² トン (CO ₂ 換算) 【1 台あたりのCO ₂ 削減量】 1. 03 × 10 トン (CO ₂ 換算)

※ 川崎メカニズムは、ライフサイクルアセスメント (LCA) 手法を活用して、市内企業の域外貢献量を「見える化」し、企業が市場で適切に評価される仕組みです。

※ 1 台あたりのCO₂削減量については、原材料調達から廃棄等までのライフサイクル全体で算定したものです。

川崎市環境局地球環境推進室
電話 044-200-3872
FAX 044-200-3921



低CO₂川崎ブランド

低CO₂川崎ブランド' 16 認定製品・技術一覧

別紙1

* 下記の図において、各ライフサイクルにおけるCO₂排出量が、**緑は減少**、**赤は増加**、**灰色は変化なし**を示す。

大賞

宮松エスオーシー株式会社 こんじゃりコン

中原区 中小企業

製品・技術等の概要

余剰生コンクリートを独自技術により骨材として再資源化し、その骨材を配合した生コンクリート。天然資源の有効活用、産業廃棄物の削減に寄与



人工漁礁用のコンクリートブロック

先進性・独自性等

独自技術を用いて余剰生コンクリートを直接、骨材に再資源化し、それを生コンクリートに再利用したもので、バージン材を利用して製造する生コンクリートに比べてCO₂排出量を削減
今後、再資源化の取組が広がることにより、地域の温室効果ガス削減に貢献

ライフサイクルでのCO₂削減

従来製品と比較して約25%のCO₂排出量を削減



川崎バイオマス発電株式会社 CO₂フリー電気

川崎区 中小企業

製品・技術等の概要

首都圏で発生する建築廃材・剪定枝から作られた木質チップ燃料などを有効利用することで、資源リサイクルに貢献し、発電燃料として化石燃料を使用せずに発電する電気



先進性・独自性等

2015年度の燃料集荷実績では、全木質チップ燃料の約40%を川崎市、約70%を神奈川県内の破砕事業者から入荷しており、資源の地産地消に貢献

ライフサイクルでのCO₂削減

公共電力と比較して約98%のCO₂排出量を削減



JFEスチール株式会社 東日本製鉄所(京浜地区) 新しい製鉄原料製造技術「Super-SINTER®OXY」

川崎区 大企業

製品・技術等の概要

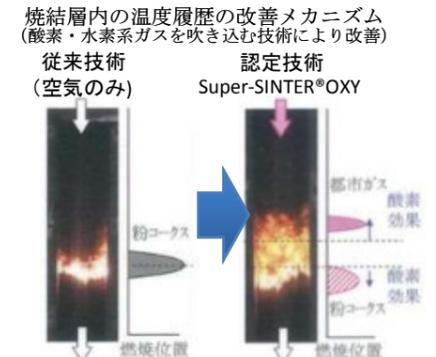
主要な製鉄プロセスである焼結鉱製造工程において、焼結鉱強度を向上させる技術

先進性・独自性等

焼結機に酸素・水素系ガス(都市ガス)を吹き込む技術を開発。劣質原料使用時の課題であった焼結鉱強度が2%改善することにより歩留りが向上し、生産性を従来より5%改善することを実現

ライフサイクルでのCO₂削減

焼結鉱製造工程の歩留まりを向上させることにより、当該工程において約1%のCO₂排出量を削減



株式会社東芝 小向事業所 SSR装置「TW4477」

幸区 大企業

製品・技術等の概要

航空管制システムにおける、航空機の識別情報や高度情報、位置情報を取得する装置

先進性・独自性等

高性能な信号処理ユニットのソフトウェア化及び送受信部の高集積化により、装置の高機能化、小型化及び省電力化を実現

ライフサイクルでのCO₂削減

同社旧製品と比較して約35%のCO₂排出量を削減



株式会社東芝 小向事業所 免許証印刷機「VL-L1390」

幸区 大企業

製品・技術等の概要

ICカード運転免許証を発行する装置

先進性・独自性等

色表現をより自然に近づけるなどの画質品質の向上や、操作画面のサイズアップなどによる操作性の向上を図り、省電力デバイス及び省エネモードの採用などにより省電力化を実現

ライフサイクルでのCO₂削減

同社旧製品と比較して約25%のCO₂排出量を削減



平成28年度川崎メカニズム認証制度 認証製品・技術一覧

株式会社東芝 小向事業所 SSR装置「TW4477」

市内で研究開発、
最終製品製造

- 製品・技術等の概要
航空管制システムにおける、航空機の識別情報や高度情報、位置情報を取得する装置
- 先進性・独自性等
高性能な信号処理ユニットのソフトウェア化及び送受信部の高集積化により、装置の高機能化、小型化及び省電力化を実現
- 域外貢献量の算定時に比較した製品・技術等
同社旧製品のSSR装置
- 域外貢献量
6. 3×10^2 トン(CO₂換算)(製品使用年数15年間)
- 1台あたりのCO₂削減量
2. 1×10^2 トン(CO₂換算)



株式会社東芝 小向事業所 免許証印刷機「VL-L1390」

市内で研究開発、
最終製品製造

- 製品・技術等の概要
ICカード運転免許証を発行する装置
- 先進性・独自性等
色表現をより自然に近づけるなどの画質品質の向上や、操作画面のサイズアップなどによる操作性の向上を図り、省電力デバイス及び省エネモードの採用などにより省電力化を実現
- 域外貢献量の算定時に比較した製品・技術等
同社旧製品の免許証印刷機
- 域外貢献量
8. 66×10^2 トン(CO₂換算)(製品使用年数5年間)
- 1台あたりのCO₂削減量
1. 03×10 トン(CO₂換算)



第13回アジア・太平洋エコビジネスフォーラムの開催について

地球温暖化対策の国際的合意であるパリ協定の発効に伴い、温室効果ガスの全世界的な排出抑制の取組が求められる中、世界各都市の役割が重要になっています。

このため、市内企業の優れた環境技術や国内外の環境課題への取組についての情報交換及び参加都市間との信頼関係の醸成を目的に、川崎国際環境技術展 2017 の開催に併せて、「第13回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」を開催します。

- 1 **日時** 平成29年2月16日（木）11:00～17:15
- 2 **会場** とどろきアリーナ（サブアリーナ研修室）
- 3 **主催** 川崎市
- 4 **共催** 国際連合環境計画 国際環境技術センター（UNEP IETC）、
国立研究開発法人 国立環境研究所（NIES）
- 5 **プログラム（予定）** <英語、中国語同時通訳あり>
 テーマ：「都市と産業の共生に向けて」
 ～川崎発！脱炭素と資源循環に向けたアジア各都市との連携～
 基調講演 国際連合環境計画 国際環境技術センター 所長 キース・アルバーソン
 「脱炭素社会の世界的潮流と都市における持続可能な開発」
 I 都市未来セッション～脱炭素社会実現に向けた都市の役割
 II 都市連携セッション～持続可能な発展に向けた都市間連携によるアプローチ
 III 企業行動セッション～アジアにおける企業の環境分野でのアクション



【昨年度のエコビジネスフォーラム】

問合せ先
 川崎市環境局環境総合研究所事業推進課
 電話：044-276-9118

第13回 アジア・太平洋 エコビジネスフォーラム

13th Asia-Pacific Eco-Business Forum in Kawasaki

入場無料

事前登録制
先着順
定員100名

日英中同時通訳

Admission Free

Simultaneous
interpretation between
Japanese, English and
Chinese will be
provided

都市と産業の共生に向けて

～川崎発! 脱炭素と資源循環に向けたアジア各都市との連携～

Toward an Urban-Industrial Symbiosis

- Actions from Kawasaki: Strengthening Cooperation with Asian Cities to Promote Decarbonized and Resources Recycling Society -

地球温暖化対策の国際的合意であるパリ協定の発効に伴い、温室効果ガスの全世界的な排出抑制の取組が求められる中、世界各都市の役割が重要になっています。このフォーラムは、国際連合環境計画 国際環境技術センターと国立研究開発法人 国立環境研究所との共催により、市内企業の優れた環境技術や国内外の環境課題への取組についての情報交換及び参加都市間との信頼関係の醸成を目的に川崎国際環境技術展2017と一体的に開催します。

With the Paris Agreement, an international agreement on global warming countermeasures, entering into force and the need for global-scale efforts to curb greenhouse gas emissions, the role of cities around the world is becoming more important. This Forum will be held concurrently with the Kawasaki International Eco-Tech Fair 2017, jointly organized with the United Nations Environment Programme / International Environmental Technology Centre (UNEP/IETC) and the National Institute for Environmental Studies with a view to exchange information to promote the excellent environmental technologies of local companies, as well as initiatives for environmental problems both in Japan and abroad, and to create relationships of trust with participating cities.

2017年2月16日(木) 11:00-17:15

とどろきアリーナ サブアリーナ研修室 ● 武蔵小杉駅北口からとどろきアリーナ前行き
直行シャトルバス(無料)をご利用ください

Date February 16 (Thu), 2017 11:00-17:15

Venue Todoroki Arena (Sub-Arena, Conference Room) ● Please take the free shuttle bus to the venue, Todoroki arena from the north exit bus terminal of Misashi-Kosugi Station.

Green
Power



本イベントで使用する電力のうち1,000kWhは、風力発電で賄います。

主催: 川崎市

共催: 国際連合環境計画 国際環境技術センター (UNEP IETC)
国立研究開発法人 国立環境研究所 (NIES)

協力: NPO法人環境文明21 / NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター
公益財団法人 川崎市産業振興財団 / 川崎商工会議所

後援: 環境省 / 経済産業省 / 公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES)
公益財団法人 地球環境センター (GEC)
一般社団法人 イクレイ日本 (ICLEI)
一般財団法人 日本環境衛生センター (JESC)
一般社団法人 海外環境協力センター (OECC)

言語: 英語、日本語、中国語
(日本語⇄英語、日本語⇄中国語の同時通訳あり)

Organizer: City of Kawasaki

Co-organizer: United Nations Environment Programme /
International Environmental Technology Centre (UNEP/IETC)
National Institute for Environmental Studies (NIES)

Supported by: Non Profit Organization Japan Association of Environment and Society for the 21st Century
Non Profit Organization Liaison Center for Creation of Industry & Environment
Institute of Industrial Promotion Kawasaki / The Kawasaki Chamber of Commerce & Industry

Sponsoring Organizations: Ministry of Environment / Ministry of Economy, Trade and Industry
Institute for Global Environmental Strategies (IGES) / Global Environment Centre Foundation (GEC)
International Council for Local Environmental Initiatives (ICLEI) / Japan Environmental Sanitation Center (JESCO)
Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC)

Language: English, Japanese and Chinese
(Simultaneous interpretation is available for the following languages:
from Japanese to English and Chinese, and from English and Chinese to Japanese.)

第13回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム

13th Asia-Pacific Eco-Business Forum in Kawasaki

プログラム (予定)		Program (Tentative)
開会挨拶 川崎市環境局長	11:00-11:05	Opening Address Director General, Environment Bureau, Kawasaki City
I 基調講演 脱炭素社会の世界的潮流と 都市における持続可能な開発 ▶ 国際連合環境計画 国際環境技術センター (UNEP IETC) 所長 キース・アルバーソン ほか	11:05-11:30	I Keynote Speech Global Trends of Decarbonized Society and Promotion of Sustainable Urban Development ▶ Keith Alverson, Director, United Nations Environment Programme / International Environmental Technology Centre (UNEP/IEIO), other
II 都市未来セッション 脱炭素社会実現に向けた都市の役割 コーディネート: 国立環境研究所社会環境システム 研究センター長 藤田 壮 ▶ インドネシア バンドン工科大学 / 上海交通大学 ほか	12:30-13:50	II Future Eco Cities Session The Role of Cities in Achieving a Decarbonized Society Session Coordinator: Tsuyoshi Fujita, Director, Center for Social and Environmental Systems Research, NIES ▶ Bandung Institute of Technology, Indonesia, Shanghai Jiao Tong University, other
III 都市連携セッション 持続可能な発展に向けた 都市間連携によるアプローチ コーディネート: UNEP IETC企画官 本多 俊一 ▶ 中国 瀋陽市環境保護局 / インドネシア バンドン市 マレーシア ペナン州政府 / ベトナム バリアブントウ省	14:00-15:20	III Inter-City Cooperation Session Inter-City Cooperation Approach for Sustainable Development Session Coordinator: Shunichi Honda, Programme Officer, United Nations Environment Programme / International Environmental Technology Centre (UNEP/IEIO) ▶ Shenyang Environmental Protection Bureau (China), Bandung City (Indonesia) Penang State Government (Malaysia), Bà Rịa-Vũng Tàu Province (Vietnam)
主催者挨拶 川崎市市長 福田 紀彦	15:20-15:30	Welcome Address by the Organizer Norihiko Fukuda, Mayor of Kawasaki City
IV 企業行動セッション アジアにおける企業の環境分野でのアクション コーディネート: 川崎市国際環境参与 末吉 竹二郎 ▶ 株式会社東芝 ストレージ&デバイスソリューション社 ▶ 住友林業株式会社 ▶ 旭化成株式会社 ▶ ちとせバイオエボリューション	15:50-17:10	IV Corporate Action Session Corporate Action in the Field of the Environment in Asia Session Coordinator: Takejiro Sueyoshi, Special Advisor to the Mayor of Kawasaki City ▶ Toshiba Corporation Storage & Electronic Devices Solutions Company ▶ Sumitomo Forestry Co., Ltd. ▶ Asahi Kasei Corporation ▶ Chitose Bio Evolution Pte. Ltd.
閉会挨拶 川崎市環境局担当理事 / 環境総合研究所長	17:10-17:15	Closing Address Executive Director, Kawasaki Environment Research Institute / Executive Director, Environment Bureau, Kawasaki City

入場無料 事前登録制 / 先着順定員100名

Admission Free

CAPACITY: 100 seats

(Prior registration required. Accepted on a first-come, first-served basis.)

申込方法

メール/FAXで、件名を「エコビジネスフォーラム参加」とし、「所属、名前、連絡メールアドレス又はFAX番号、(一部のみの参加を希望する場合は)参加希望のセッション番号 (I, II, III, IV)」を明記し、専用アドレス: ecobiz2017@c-linkage.co.jp 又は、FAX番号: 03 (3263) 8693 「第13回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム事務局」あてに送信してください。

※受付証等の発行はございません。当日名刺2枚をご持参ください。定員に達した場合のみ、メール又はFAXでご連絡します。なお、定員に達しないセッションは、当日参加もできます。

問い合わせ先 川崎市環境局環境総合研究所事業推進課 電話: 044-276-9118

Application Method

Please e-mail or fax your name, affiliation, contact email address or fax number, and sessions that you would like to attend (I, II, III, IV) (if attending only part of the program), using the subject "Eco-Business Forum Participation," to the Secretariat of the 13th Asia-Pacific Eco-Business Forum: ecobiz2017@c-linkage.co.jp, +81-3-3263-8693.

※Please note that the Secretariat will not provide confirmation of receipt. Please bring 2 business cards the day of the event. Registrants will be contacted only if the event is full. Registrants may attend any sessions that are not full on the day.

For inquiries Project Promotion Section, Kawasaki Environment Research Institute Tel: +81-44-276-9118

川崎国際環境技術展2017

Kawasaki International Eco-Tech Fair 2017



開催概要

2017年1月17日

川崎国際環境技術展実行委員会事務局

川崎国際環境技術展2017 開催概要

2

■ 実施概要

- 名 称 川崎国際環境技術展2017
Kawasaki International Eco-Tech Fair 2017
～川崎からはじまるグリーンイノベーション 一歩先へ、もっと先へ～ リニューアル!!
- 開催目的 川崎から優れた環境技術やノウハウを国内外に広く情報発信するとともに、国際的なビジネスマッチング場を通じて、出展企業・団体のビジネス機会を創出し、環境分野でのイノベーションの推進と産業の活性化を図る。
- 日 時 開催期間:2017年2月16日(木)・17日(金) 10:00～17:00
- 場 所 川崎市とどろきアリーナ
- 開催内容 ◆企業等出展 133団体、217ブース (2017年1月16日現在)
 - ・屋内展示ブース
 - ・屋外展示ほか◆主催者企画
 - ・会場内にて川崎の環境への取組や最新の取組などをテーマに解りやすく情報発信
 - ・等々力緑地の外周園路を活用した試乗体験会を実施◆ビジネスマッチング
 - ・国内外からの来場者と出展者などのビジネスマッチングの創出や各種支援
 - ・ビジネスを促進させる多彩なセミナーの実施
- 主 催 川崎国際環境技術展実行委員会

3

16日
(木)

■ 展示メニュー

- ・出展者展示
- ・主催者展示

■ ビジネスメニュー

- ・商談会
- ・販路開拓支援セミナー
- ・環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー
- NEW!! 資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネスセミナー
- NEW!! ビジネス交流会(名刺交換会)

■ ステージメニュー

- ・オープニングセレモニー
- ・市長講演
- NEW!! グリーンイノベーションセミナー in かわさき
- ・企業プレゼンテーション など

■ イベントメニュー

- ・エコカー試乗会

【関連事業】

第13回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム(川崎市環境局)

NEW!! 知的財産セミナー(日本弁理士会関東支部)

17日
(金)

■ 展示メニュー

- ・出展者展示
- ・主催者展示

■ ビジネスメニュー

- ・商談会
- ・販路開拓支援セミナー
- NEW!! 資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネスセミナー
- ・UNIDOツアー など

■ ステージメニュー

- ・環境産業フォーラム
- NEW!! NEDO技術セミナー
- ・企業プレゼンテーション
- ・各種特別講演
- ・クロージングセレモニー など

■ イベントメニュー

- ・環境出前授業
- ・エコカー試乗会 など

川崎国際環境技術展2017
開催のポイント

6

■ 開催のポイント

- ① 「資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス」をテーマとして開催！
- ② ビジネスマッチングを加速させる企画を多数実施！
- ③ 有識者や企業代表者によるビジネスに役立つステージプログラムを用意！

7

■ 開催のポイント①

- ① 「資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス」をテーマとして開催！
- ② ビジネスマッチングを加速させる企画を多数実施！
- ③ 有識者や企業代表者によるビジネスに役立つステージプログラムを用意！

8

■ 開催のポイント① 【「資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス」をテーマとして開催！】

革新的な取組を効果的に発信するテーマ展示

時流を捉えた革新的な取組を、川崎国際環境技術展の場から効果的に発信するため、テーマ展示エリアを設置する。

◆ 川崎国際環境技術展2017 テーマ展示タイトル

『資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス』

◆ テーマ展示展開

資源・エネルギーに関連し、環境ビジネスへの有益な情報発信につながるカテゴリーを会場内にて表現。

- ① エネルギー分野……再エネ、コジェネ、断熱、発電技術、省エネ等
- ② 水素エネルギー分野……水素発電、水素製造、FCV、水素ステーション等
- ③ 廃棄物・リサイクル分野……エコタウン、資源循環、再生材使用等
- ④ 水処理分野……非常用飲料水、濾過技術、公共水道、水ビジネス等
- ⑤ IoT分野……エネルギー効率化、ソリューション技術
- ⑥ 電力自由化……電力小売、節電、電気料金比較サービス等

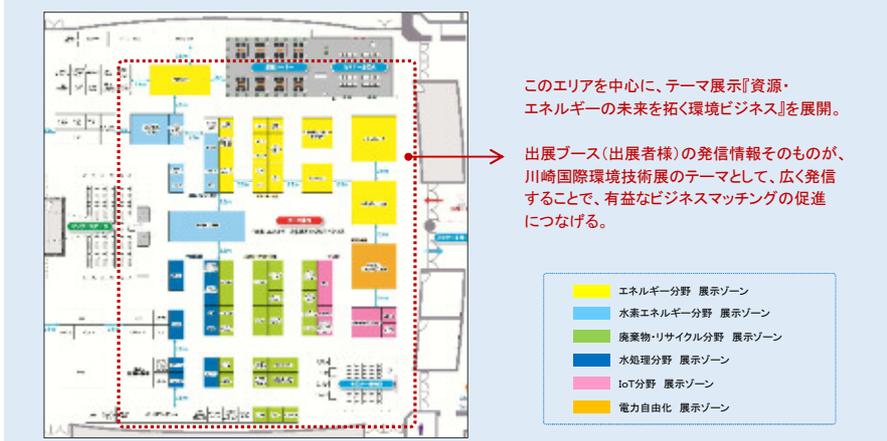
9

開催のポイント① 【「資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス」をテーマとして開催！】

テーマ展示のゾーニング

テーマタイトルの『資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス』に関連する6つのカテゴリーを会場内にレイアウトし、入口付近のメイン会場全体が、テーマ展示ゾーンとなるよう構成する。出展ブースの中心に、テーマに則した国や川崎市の最新の取組などを展示し、情報発信することで各出展者のブースへの誘導を効果的に行う。

◆ テーマゾーン会場計画案



開催のポイント① 【「資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス」をテーマとして開催！】

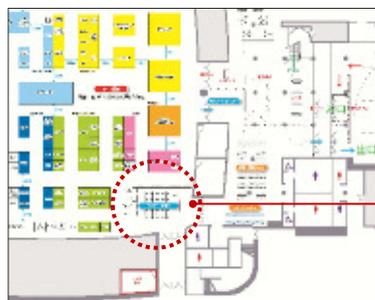
オピニオンリーダーによるビジネスセミナーの開催

NEW!!

テーマタイトル「資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス」に関連したビジネスに役立つ有益な情報を、専門家により、セミナー形式で来場者に提供し、ビジネスのヒントとして活用してもらう。

◆ 川崎国際環境技術展2017 テーマ展示タイトル

『資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネスセミナー』



市内事業者や専門家による、ビジネスに役立つセミナーを会場内(アリーナ内)セミナースペースで開催。

- ◆ セミナー会場B
『資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネスセミナー』
- ◆ 会場定員数:50名(予定)
- ◆ 【事前申込制】とし、定員に達し次第締切
※空席がある場合は当日参加可
- ◆ セミナー時間:各40分間程度

■ 開催のポイント①【「資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス」をテーマとして開催！】

オピニオンリーダーによるビジネスセミナーの開催

NEW!!

◆ 資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネスセミナー 2月16日(木) 13:00~15:55

IoT

「ビジネスイノベーションを加速するIoTソリューション
~各業種向けや環境への適用事例を中心に~」

富士通株式会社 ネットワークサービス事業本部 IoTビジネス推進室室長 須賀 高明 氏



エネルギー、電力自由化

「デジタルイノベーションが拓くエネルギーのスマート利用」

東京電力ホールディングス株式会社 技術・環境戦略ユニット技術統括室
プロデューサー 矢田部 隆志 氏



土壌汚染対策

「土壌環境問題の現状と清水建設の取組」

清水建設株式会社 エンジニアリング事業本部 土壌環境事業部 調査計画部 部長 相澤 渉 氏

水素エネルギー

「水素製造装置と水素ステーションへの展開」

三菱化機株式会社 水素ステーション部長 山崎 明良 氏



12

■ 開催のポイント①【「資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス」をテーマとして開催！】

オピニオンリーダーによるビジネスセミナーの開催

NEW!!

◆ 資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネスセミナー 2月17日(金) 13:00~15:55

IoT、廃棄物

「リサイクルビジネスが挑むIoTイノベーション」

一般社団法人資源循環ネットワーク 代表理事 林 孝昌 氏



エネルギー、電力自由化

「電力自由化と東京ガスの電力販売について」

東京ガス株式会社 エネルギー提案推進部 磯浜 英大 氏

水処理

「世界の水処理の課題と水ビジネス戦略(仮)」

JFEエンジニアリング株式会社 アクアソリューション本部 海外事業部事業部長 阿部 吉郎 氏

水素エネルギー

「再生可能エネルギーを活用した水素社会実現に向けた取組と今後の展開」

株式会社東芝 次世代エネルギープロジェクトチーム

13

■ 開催のポイント②

① 「資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス」をテーマとして開催！

② ビジネスマッチングを加速させる企画を多数実施！

③ 有識者や企業代表者によるビジネスに役立つステージプログラムを用意！

14

■ 開催のポイント②【ビジネスマッチングを加速させる企画を多数実施！】

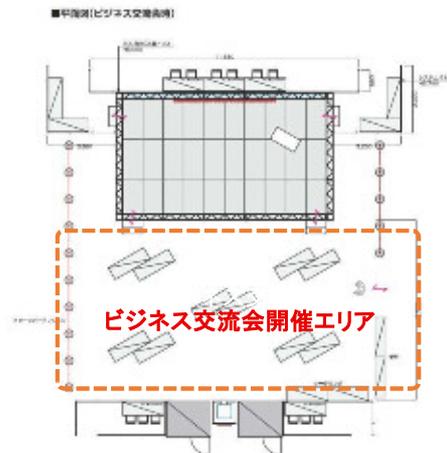
ビジネス交流会(名刺交換会)の開催

NEW!!

出展者間の更なる交流促進を目的として、ビジネス交流会(名刺交換会)を実施。
出展者同士の交流に加え、福田市長をはじめ主催者や各種セミナー講師、支援団体、
併催事業関係者等の参加も想定し、交流の活性化を図る。

【実施概要】

- ◆日時: 2017年2月16日(木) 17時20分～18時30分
 - ◆場所: センターステージ前スペース
 - ◆想定定員: 100～120名
 - ◆参加費: 1000円/人
 - ◆参加者属性(案)
 - ・ブース出展者様
 - ・協賛団体様
 - ・協力団体様(ステージやセミナー登壇者)
 - ・一般参加者
- * 協賛団体様、協力団体様は無料。



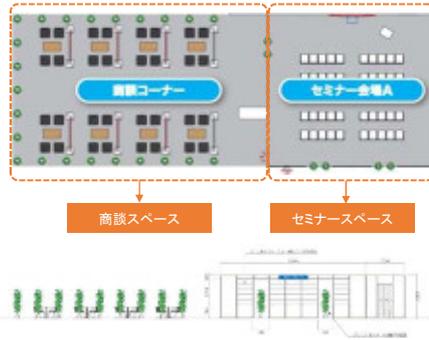
15

関東経済産業局主催 環境ビジネスアライアンスマッチングセミナーの開催

環境ビジネスを展開する中小企業等の新たな事業の創出を目的とした関東経済産業局主催のセミナーを会場内にて開催する。会場内のセミナースペースで予め決定した企業がプレゼンを行い、プレゼン後、商談スペースにて個別商談を実施する。

【実施概要】

- ◆日時: 2017年2月16日(木) 13時～16時
- ◆場所: セミナー会場A、商談コーナー
- ◆参加団体数: 10社程度



セミナースペースと商談スペースを一体の作りとし、セミナーの内容に合わせて、レイアウト等の変更を行える仕様とすることで、連携する団体のニーズに即した会場作りを行い、マッチングの機会を創出する。

国際連合工業開発機関(UNIDO)視察ツアーの実施

在日大使館向け場内視察ツアーを通じ、国際的なビジネスマッチングの場を創出する。
UNIDO加盟の途上国関係者に対し、川崎の環境産業関連の情報提供を積極的に展開する。

【実施概要】

- ◆日時: 2017年2月17日(金) 13時50分～16時30分
- ◆訪問ブース数: 10社程度

<参加国(2016年実績 18カ国・23名)>

- | | | | |
|--------|--------|----------|-------------|
| ・インド | ・コロンビア | ・ブルキナファソ | ・南アフリカ |
| ・エチオピア | ・スーダン | ・ベナン | ・モルディブ(大使) |
| ・ウガンダ | ・チリ | ・ペルー | ・モーリタニア(大使) |
| ・ウルグアイ | ・ネパール | ・ミャンマー | ・リベリア |
| ・ガーナ | ・フィリピン | | |



新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)によるセミナー開催

NEW!!

川崎市が、次世代産業の推進に関する協定をNEDOと締結したことを契機とし、川崎国際環境技術展の場を活用してNEDOによるセミナーを開催することで、川崎市内企業を中心とした次世代産業の推進に繋げる。

【実施概要】

- ◆事業名：NEDO技術セミナーの実施
- ◆日時：2017年2月17日(金) 13時～14時30分
- ◆場所：センターステージ

◆主な内容

- ・NEDOの紹介
- ・省エネルギー技術戦略2016の紹介
- ・戦略省エネプログラムの制度紹介
- ・戦略省エネプログラムの開発事例
- ・国際エネルギー実証事業の紹介
- ・国際エネルギー実証事例



18

販路開拓支援セミナーの開催

支援団体との連携による企業の海外展開・販路開拓に有益となるセミナーを開催する。
専門家との個別相談も開催し有益な情報提供の場とする。

1 国際協力機構(JICA)、日本貿易振興機構(JETRO)による事業・制度紹介

NEW!!

- ◆日時：2017年2月16日(木) 11時30分～12時30分
- ◆場所：セミナー会場A



① 国際協力機構(JICA)横浜国際センター

「JICA中小企業海外展開支援 ー環境・資源エネルギー案件を中心にー」

② 日本貿易振興機構(JETRO)横浜貿易情報センター

「新輸出大国コンソーシアムの紹介とジェットロを活用した海外展開事例」

*セミナー後は、各ブースで個別相談可

2 中小企業基盤整備機構による海外展開セミナーの開催

- ◆日時：2017年2月17日(金) 11時30分～12時30分
- ◆場所：セミナー会場B



「ASEAN地域で販路を築くために必要なステップ」

*セミナー後は、商談ブースで個別相談可

19

ビジネスマッチングに繋がる併催事業の開催

◆ 第13回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム

開催日：2017年2月16日(木)11時～17時15分
場所：とどろきアリーナ 研修室1・2
主催：川崎市環境局
共催：国際連合環境計画 国際環境技術センター、国立研究開発法人 国立環境研究所
地球温暖化対策の国際的合意であるパリ協定の発効に伴い、温室効果ガスの全世界的な排出抑制の取組が求められる中、世界各都市の役割が重要になっている。
このため、市内企業の優れた環境技術や国内外の環境課題への取組についての情報交換及び参加都市間との信頼関係の醸成を目的に川崎国際環境技術展2017と一体的に開催する。



◆ 知的財産セミナー **NEW!!**

開催日：2017年2月16日(木)13時～16時30分
場所：セミナー会場C(とどろきアリーナ 体育室1)
主催：日本弁理士会関東支部
日本弁理士会の主催事業として、海外展開における「知財初心者」や「中小企業の知的財産関連業務をされている方」を対象とするセミナーを開催する。



その他のビジネスマッチング加速化に向けた新たな取組(例示)

取組①

- 川崎国際環境技術展2017のWEBサイト活用 **拡充!!**
⇒ WEBの各出展者紹介欄にビジネスマッチングボタンを設置する。
ビジネスマッチングボタンから申込可能な専用フォームを設けることでスムーズな商談の機会を創出する。

取組②

- かわさきエコビジネスボードの設置 **NEW!!**
⇒ 会場入口付近にビジネスマッチングの促進を図るための情報ボードを設置する。
情報ボードには出展者からの情報や、セミナープログラム、各種ステージ情報などを掲出するとともに、来場者からの情報も掲出するなど、情報発信のツールとして活用し、総合的な商談の機会を創出する。

<かわさきエコビジネスボードイメージ>



出展者のメッセージボード

■ 開催のポイント②【ビジネスマッチングを加速させる企画を多数実施！】

その他のビジネスマッチング加速化に向けた**新たな取組**(例示)

取組③

- 団体の会場見学の事前受付 **NEW!!**
⇒ ビジネスマッチングを目的とした団体の会場内見学をHP上で受付する。
当日、事務局がアテンドし、商談の機会を創出する。

取組④

- 学生と企業とのマッチング機会の創出 **NEW!!**
⇒ 展示会の場を学生と企業のマッチングの場のフィールドとして提供する。

取組⑤

- 関係機関と連携した取組展開 **拡充!!**
⇒ 関係機関のネットワークを活用したビジネス関係者への周知を行う。
<主な関係機関>
川崎商工会議所、川崎市産業振興財団、NEDO、JICA、JETRO、JST、他都市(東京都、大田区、世田谷区など)
及びその関係機関 など
⇒ 中小企業基盤整備機構のマッチングサイト「J-GoodTech」と連携した年間を通じた商談機会の創出

22

■ 開催のポイント③

① 「資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス」をテーマとして開催！

② ビジネスマッチングを加速させる企画を多数実施！

③ 有識者や企業代表者によるビジネスに役立つステージプログラムを用意！

23

有識者・企業代表者によるプレゼンテーションの実施

NEW!! グリーンイノベーションセミナーinかわさき

◆2月16日(木)11:00~11:50 <基調講演>

『環境革命の時代へー新たなビジネスモデルを考えるー』

環境革命の時代である今、どのようなビジネスモデルが求められ、企業はどう対応をおこなうべきか、
新たな企業の姿を考えます。

【プロフィール】

1945年：鎌倉市に生まれる
1969年：東京農業大学・農学部・造園学科に学ぶ
1972年：東急グループの造園事業会社「(株)石橋エクステリア」を27歳にして創立、代表取締役社長に就任
2000年：社長就任30期目を機に相談役に退く
2002年：愛・地球博海上演出総合プロデューサーに任じられる
2011年：国連生物多様性の10年委員会・委員長代理
2013年：首都高道路大規模更新検討委員会・座長

今日までに、多摩田園都市・ハウステンポス・愛 地球博記念庭園・首都高大橋ジャンクション・愛知学院大学名城公園キャンパスなどのランドスケープの計画を主宰

現在は、生態系を活用したグリーン・インフラ検討委員会・委員長 / 川崎市長期総合計画策定有識者懇談会会長 / 新国立競技場事業者選定委員会・委員など国及び地方の各種審議会・委員会に参加

中央環境審議会委員など国や地方公共団体の委員・委員長・会長を歴任

現職は東京都市大学・特別教授 / 愛知学院大学・特認教授 / 東京農業大学客員教授 / 中部大学中部高等学術研究所客員教授 / 岐阜県立森林文化アカデミー・学長 / なごや環境大学・学長等々に就任



東京都市大学環境学部 特別教授
堤 潤
浦井 史郎氏

有識者・企業代表者によるプレゼンテーションの実施

NEW!! グリーンイノベーションセミナーinかわさき

◆2月16日(木)11:50~12:40 <特別講演①>

『新たなエネルギービジネスの動向』

【プロフィール】

熊本県生まれ。上智大学外国語学部卒業。
大学在学中から、TV朝日の報道番組のキャスター、リポーター、ディレクターとして取材活動を行い、その後、NHK BSIでワールドニュースキャスターとして「ワールドレポート」等の番組を6年間担当する。
2008年より研究員として東京大学での環境・エネルギー分野の人材育成プロジェクトに携わる。
2014年4月より現職。

東京大学教養学部附属教養教育高度化機構環境エネルギー科学特別部門客員准教授

専門は、科学コミュニケーション。

研究テーマは、「エネルギーと地球との共存」「エネルギーと社会的受容性」「企業の環境経営動向」等、環境とエネルギーの視点から持続可能な社会のあり方をめざす。

現在は教養学部での学生への教育活動を行う一方、講演、シンポジウム、執筆など幅広く活動する。

NPO法人・国際環境経済研究所 (IEE) 理事。NPO法人・再生可能エネルギー協議会理事。

2012年4月号より月刊「エコノミスト」地球環境とエネルギーにて「松本真由美の環境エネルギーDiary」連載中。



東京大学教養学部 客員准教授
松本 真由美氏

◆2月16日(木)12:40~13:30 <特別講演②>

『最先端バイオ・ファイン技術による食資源と環境への貢献』

【プロフィール】

1985年 4月：味の素(株)入社 中央研究所配属

1997年 2月：Eumylsine SA (フランス) 出向

2000年 7月：味の素(株) 復職 発酵研究所 主幹研究員

2005年 6月：Ajinomoto-Genetika Research Institute (ロシア) 出向

2009年 7月：味の素(株) 復職 発酵研究所長

2010年10月：バイオ・ファイン研究所 プロセス開発研究所長

2011年 7月：理事

2015年 7月：常務執行役員 アミノサイエンス事業副本部長、バイオ・ファイン研究所長

2012年から2015年 東京工業大学 連携客員教授、2003年頃 東京農工大学 客員教授

産業技術総合研究所 外部評価委員、高機能遺伝子デザイン技術研究組合理事長等を歴任

一貫してバイオテクノロジーの基礎開発から工業化に携わる。



味の素株式会社 常務執行役員
アミノサイエンス事業本部長兼本部長
バイオ・ファイン研究所長
児島 宏之氏

■ 開催のポイント③【有識者や企業代表者によるビジネスに役立つステージプログラムを用意！】

著名有識者による国際的・戦略的視点に立った提言

環境産業フォーラム

◆2月17日(金)10:30～11:30

『世界と日本のエネルギー戦略 ―日本の進路を考える―』

今後のエネルギー戦略のあり方について、世界の構造転換と日本が直面する課題を踏まえ、

最新の著書・資料を用いて考えます。

【プロフィール】

1947年北海道生まれ。

早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。

米国三井物産ワシントン事務所所長、三井物産戦略研究所所長、三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授等を経て現職。多摩大学学長も務める。

国土省・国土審議会計画推進部会委員、宮城県・震災復興会議副議長、経産省・資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員、川崎市・先端科学技術成長戦略アドバイザーボードメンバー等歴任。

著書に『新経済主義宣言』（新潮社、第15回石橋湛山賞受賞）、『脳力（のうりき）のレッスンⅠ～Ⅳ』（岩波書店）、『中東・エネルギー地政学』（東洋経済新報社）、『シルバー・デモクラシー』（岩波新書）ほか多数。



一般財団法人日本総合研究所会長
寺島 実郎氏

■ 開催のポイント③【有識者や企業代表者によるビジネスに役立つステージプログラムを用意！】

■2月16日(木)

時間	センターステージ	セミナー会場A	セミナー会場B
10:00	オープニングセレモニー 10:00～10:30		
10:30	市長講演 10:35～10:50 「川崎から始まるグリーンイノベーション」		
11:00	グリーンイノベーションセミナー かわさき NEW!!	販路開拓支援セミナー NEW!! 11:30～12:30	海外団体ビジネスプレゼンテーション 11:00～12:00
11:30	<基調講演> 11:00～11:50 「環境革命の時代へ -新たなビジネスモデルを考える-」 東京都市大学環境学部長 特別教授、造園家、満井 史郎氏	・国際協力機構 (JICA)横浜国際センター ・日本貿易振興機構 (JETRO) 横浜貿易情報センター	・香港貿易発展局 ・中国・青島市外商投資サービスセンター 他
12:00	<特別講演①> 11:50～12:40 東京大学教養学部 客員准教授 松本 真由美氏		
12:30	<特別講演②> 12:40～13:30 味の素株式会社常務執行役員 アミノバイオ事業本部副部長 バイオ・フアイン研究所長 児島 聖之氏		
13:00	日経地球環境技術賞最優秀賞受賞報告 13:40～13:55	時間拡大!!	NEW!!
14:00	低CO2川崎ブランド 認定結果発表会 14:10～15:10	主催 関東経済産業局 環境ビジネスアライアンス マッチングセミナーin 川崎 13:00～15:55	資源・エネルギーの未来を拓く 環境ビジネスセミナー 13:00～15:55
14:30			・富士通㈱ ・東京電力ホールディングス㈱ ・清水建設㈱ ・三菱化工機㈱
15:00			
15:30	特別講演 15:15～15:35(20分) 「タイ王国”資源・エネルギー”ビジネスの可能性」 タイ カシコン銀行 NEW!!		
16:00	出展者によるビジネスプレゼンテーション 15:35～16:55(80分)		
16:30	・林クレハ環境 ・持続可能で安全安心な社会を目指す新エネルギー ・活用推進協議会 ・株エディアプラス		
17:00			

■ 開催のポイント③【有識者や企業代表者によるビジネスに役立つステージプログラムを用意！】

■ 2月17日（金）

時間	センターステージ	セミナー会場A	セミナー会場B
10:00			
10:30	環境産業フォーラム 10:30～11:30 「世界と日本のエネルギー戦略 —日本の進路を考える—」 （一財）日本総合研究所会長 寺島 実郎 氏	NEW!!	
11:00		事業化アイデア獲得セミナー 10:30～12:30	
11:30			販路開拓支援セミナー 11:30～12:30 ・中小企業基盤整備機構
12:00	かわさきコンパクトフォーラム 11:40～12:40 「パリ協定が変えるビジネスの在り方」 関連環境計画・金融イノベーション 特別顧問 末吉 竹二郎 氏		
12:30	出展者によるビジネスレゼンテーション 12:40～13:00 （一社）エコまちフォーラム		
13:00	NEW!!		NEW!!
13:30	NEDO技術セミナー 13:00～14:30		資源・エネルギーの未来を拓く 環境ビジネスセミナー 13:00～15:55 ・（一社）資源循環ネットワーク ・東京ガス株 ・JFEエンジニアリング株 ・株式会社
14:00			
14:30	出展者によるビジネスレゼンテーション 14:40～15:20 ・東京ガス株 ・（国研）科学技術振興機構		
15:00			
15:30	かわさきグリーンイノベーションクラスター取組発表 15:20～16:23 日本電気株 「IoTを活用したスマートシティの実現 —川崎エコタウンにおける環境分野での取組み—」		
16:00			
16:30	クロージングセミナー 16:30～17:00（30分）		
17:00			

28

■ その他【関連イベント】

エコカー試乗会の開催

神奈川トヨタ自動車をはじめ、各自動車メーカーと連携し、等々力緑地外周園路を利用したエコカー試乗会を実施。
時節にマッチした、話題性のある車両の展示・試乗会を実施することで、来場者の環境意識の醸成を図るとともに、来場者の誘因に繋げる。

【実施日】 2月16日（木）・17日（金）

【試乗車】

MIRAI、C-HR、リーフ、ノートe-POWER

【協力】

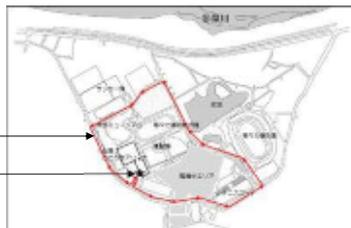
神奈川トヨタ自動車、神奈川日産自動車

【試乗体験コース】

※所要時間 1周：約10分



※車両はイメージです。



試乗体験コース（予定）

試乗体験 受付・乗降所（予定）

29

環境出前授業

企業との連携による、市内小学校を対象とした『環境出前授業』を実施する。

- ・川崎市内(等々力周辺)の小学校を対象とした出前授業の実施により、次世代層に対する環境技術への訴求を図る。
- ・児童向け授業プログラムを有する経験豊富な企業との連携により、全年代に分かりやすい内容にて開催する。
- ・アリーナ研修室または体育室で実施し、開放されたスペースで、一般来場者の見学も可能とする。

【実施日時・参加小学校】 2月17日(金) 午前の部10:00-10:45 西丸子小学校
 午後の部13:20-14:05 中原小学校

実施協力企業名	出前授業タイトル	会場予定
富士通株式会社	地球1個分で暮らすために～エコジカル・フットプリントから考える～	体育室1
JXエネルギー株式会社	E N E O S わくわく環境教室	研修室1
東京ガス株式会社	燃料電池って何だろう？	体育室2

【実施場所】 アリーナ研修室
 体育室

